



2019年度鹿児島竜谷学園和光幼稚園「まことの保育」グランドデザイン

教育目標 **【今を生きて 活かされて とともに育ち合う】**

教育方針



建学の精神

鹿児島竜谷学園が建立されたのは、幼児教育の場を通して保育される幼児と、保育する教師が、浄土真宗のみ教えのなかに、ともに育てられていくことをめざすものである。

まことの保育の理念

浄土真宗を開かれた親鸞聖人の生き方に学び、活かされているのちに目覚め、ともに育ちあうことを理念とし、その実践は、親鸞聖人を理想の人間像として生きていくように努める。

強く明るく生き抜く力

仏前で合掌し、心静かにお念仏を称えること等で、強く、明るく、生き抜く力を育てる。

主体的対話的で深く学ぶ力

子どもたちの主体性や意欲を尊重し、対話等を通して自らの考えを広げ深める力を育てる。

人間関係力

かけがえのない命をもつ一人一人の友達を大切にし、協力して行動できる力を育てる。

社会生活力

あいさつする、話をきちんと聞く、お手伝いをするなど社会生活の基本ができる力を育てる。

めざす幼稚園像

- 1 明るく、楽しく、ぬくもりに満ちた幼稚園
- 2 良質の教育・保育を提供する幼稚園
- 3 子どもの成長を約束する幼稚園
- 4 子どもたちにとって安心・安全な幼稚園
- 5 地域に愛され、地域に貢献する幼稚園



重点課題

めざす職員像

- 1 真宗保育者として私たち自らがみ教えを聞き、仏の子どもになっていく。
- 2 自分の小さな思いで、大切な子どもを育てないで、大いなる仏の慈悲につつまれてあることを忘れず、子どもを正しく明るく大きく育てていく。
- 3 たえず自らをかえりみて不完全なことを自覚しながら子どもと共に明日にむかって成長していく。。
- 4 手をあわせる人になって、すべてに感謝しながら生きる。

課題Ⅰ 「まことの保育」を推進する園づくり

- 1 日々の実践に結びつく職員研修を行う。
 - (1) 「まことの保育」を実践できる職員集団とする。
 - (2) 7月の県大会発表園として計画的・累積的研究を進める。
- 2 キャリアアップのための研修を累積的・計画的に受講させる。(5年間をめぐりに60時間受講)
- 3 人事評価制度等により個々の職員の意欲化と資質向上を図る。(個別面談の実施)

課題Ⅱ 報恩感謝の心があふれる園づくり

- 1 全ての人に対して、慈愛に満ちた言葉づかいや思いやりのあるかかわりをする。〈和顔愛語の実践〉
- 2 地域の方々、来園者等に対して笑顔であいさつしたり、誠意ある対応をする。(接遇)
- 3 地域に活かされている園であることを自覚し、地域行事の参加や社会貢献をする。(交流)
- 4 写真ポートフォリオ等により連携強化する。

課題Ⅲ 豊かな感性がにじみでる園環境づくり

- 1 子どもたちの成長が見える園環境づくりをする。(壁面、廊下等の作品、写真等の掲示)
- 2 安心安全で楽しく遊べる園環境づくりをする。(施設点検・修繕、職員による見守り等)
- 3 季節を感じられる園環境づくりをする。
- 4 清掃、後始末、整理整頓等を徹底し、明るくて、清潔感のある園環境づくりをする。